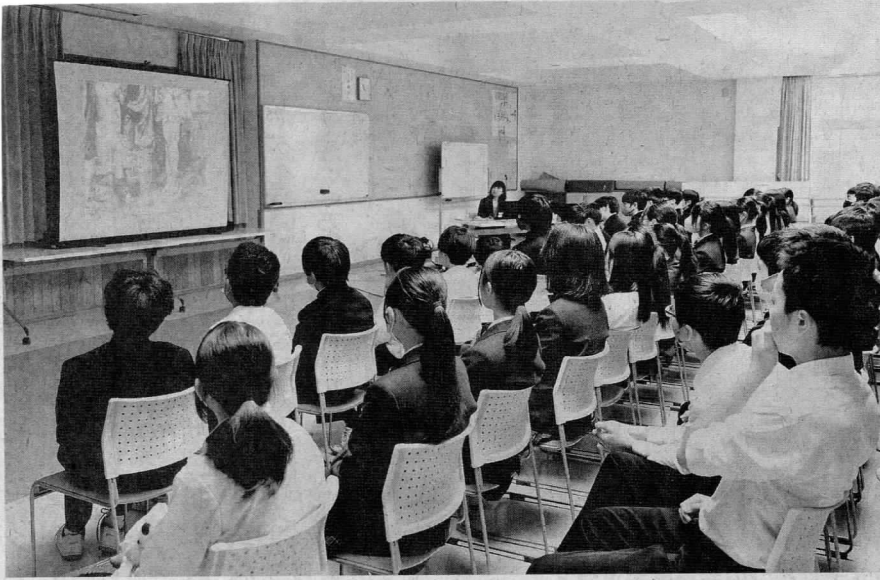


原爆の恐ろしさを考える

茅野 中学2年 非核平和学習始まる

茅野市が市内の中学2年生「平和学習」が14日、長峰中で始
を対象に毎年行っている非核「まった。市総務課職員の話



DVD鑑賞を通じて79年前に起きた出来事を学ぶ生徒たち＝長峰中学校

聞き、ドキュメンタリーDVD
D「ヒロシマ母たちの祈り」
を鑑賞し、原爆の恐ろしさや
平和の尊さについて考え、学
習を深めた。併せてパネル展
示も開始した。

映像には79年前の8月6日
に広島に原爆が投下され、焼
き尽くされた街の病院でやけ
どなどの手当てを受ける人
々、原爆孤児、子どもを亡く
した母親、被爆で苦しみが
ら生きている人々、世界平和
への動きなどが映し出され、
生徒は真剣に見入っていた。

2歳のとき母親に背負われ
て逃げる途中で強い放射能を
浴び小学6年で白血病が分か
り12歳で命を終えたが、折り
鶴に希望を託して一生懸命生
き抜いた佐々木禎子さんの話
もあった。職員は「地球上に
は今も原爆や核兵器が存在し
戦争や紛争が続いている地域

がある。学習で感じた思いを
心に留め平和な世界をつくる
ために自分たちでできること
を考えてほしい。(広島)の3
日後の長崎の原爆投下につい
ても調べて」と呼び掛けた。

感想発表では「テレビで見
ていたが思った以上にひどく
心が痛んだ。原爆についても
つと知り、自分の命も大切に
したいと思った」などと話し
ていた。
市非核平和事業は今年で32
年目。平和学習は6月7日ま
でに全4中学校でパネル展と
併せて行われる。今年も2年
生を対象に作文コンクールを
実施し、各校代表2人ずつを
8月5〜7日に行う「広島平
和の旅」に派遣する予定。